



Vol.14～2011.4

こんにちは、メルマガ委員の笹原です。この度の東日本大震災では、みなさま、そしてみなさまのご親戚は無事だったでしょうか？OBの方々の中には被災された方も少なからずいらっしゃるかと思います。部員一同心よりお見舞い申し上げます。

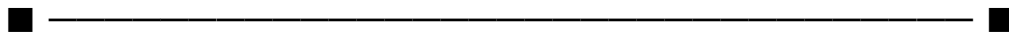
今回のメルマガですが、当初はワングルの活動のメインの1つである春合宿を中心にお届けする予定でしたが、震災の影響で多くの春合宿が中止となりました。合宿直前での決定だったのでとても残念でやり切れない思いでいっぱいですが、安全面のことを考えれば仕方ない決定だと思います。そんなわけで、合宿の報告は連協スキー、冬PW、春合宿（無人島）の3つだけとなりますが、どうかご了承ください。

さて、春休みも終わり、新入部員獲得に向けて準備を進めているところであります。ワングル部員の男女比がおかしい今、なんとしてでも女子部員を多く獲得してメッチェンの比率を上げたいです。これ以上オッチェンの比率が上がるのはごめんだぜ…

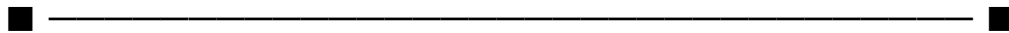
== Index =====

■連協スキー	～赤倉温泉&スキー～
■冬PW	～絵本の世界から～
■無人島合宿	～朝起きたら料理が目の前にある～
■部員紹介	～★54期次期リーダーズ★～
■現役部員アンケート	～☆53期リーダーズ☆～

=====



2011/2/16～17 連協スキー  
～赤倉温泉&スキー～



今回の連協スキーでは2日間かけて新潟のスキー場に行ってきました。阪大、市大、府大ともにテストや合宿が重なって参加者は少なかったですが、阪大からは1回生3人、3回生1人の4人が参加し、スキーやスノーボーを通して、また、1日目の夜の宴会などの中でお互いに交流を楽しみました。

(55期 基礎工1 多田昌洋)

今回は阪大からの参加人数が4人と、予想していたよりも少人数での合宿となりました。天気は晴れに晴れ、雪も溶けてしまうほどの暖かさでした。スキーは勿論、宴会、豪華な温泉(?)と、とても面白い合宿でしたので、来年からはもっと皆参加して欲しいと心から思いました。

(55期 基礎工1 五十嵐尋)

人生初のスキーに期待と不安半々といったところで臨ませてもらいました。連れられるがままりフトで頂上までゆき何度も雪に顔を埋めましたが、天野さん、五十嵐、多田と府大の山下君のおかげでなんとか滑れるようになりました。結果としてはスキーもぼちぼちできるようになり、個性豊かな市大、府大の方々との交流もでき、有意義な合宿になりました。新舎さん主動の激しい飲み会では阪大生はことごとく倒れてゆき全滅という情けない状況になったのが心残りですが(苦笑)。

(55期 工1 矢達高大)

---

2011/2/12~13 冬PW

～絵本の世界から～

---

冬PWは例年通り比良に行き、暮雪山荘に1泊しました。初めての雪山ということですが、すごく楽しみに臨んだのですが、想像以上の雪景色に圧倒されました。雪景色を眺めるのはもちろん、アイゼンやワカンで新雪を踏み歩くことなど、新しいことだらけですごく楽しかったです。そして何よりたくさんのOBさんと交流できたのが良かったです。(文責 大江)



わたしにとって三年目で初の冬PW参加となりましたが、楽しすぎて過去二年行かなかったことを後悔しました。あいにく、天候は悪く、頂上からの展望も良くなかったのですが、初めての経験も多く、雪山歩きは楽しいものでした。結果的には、大震災の影響で、現役最後の合宿となりましたが、後輩たちも上手く自然と向き合って、これからも事故なく頑張ってほしいと思います。

(53期 工3 篠崎拓也)

高校の山岳部でも春休みに四国の山に行き雪の中を歩いたことがあり、その時はあられの様な吹雪の中で絶叫しながらも、山も空も何もかも白い世界を全身で楽しみました。雪の斜面を這いつくばりながら駆け抜けたあの時を思い出し、テスト期間中でもうずうずしながら臨んだ冬の比良山は僕の期待を裏切りませんでした。四国とは違った柔らかな牡丹雪、雪と樹木たちの織りなすモノクロの景色、本当に六方星だった雪の結晶、運動不足解消によかったラッセル。雪山は厳しかれど魅力多きものだなあ、と改めて思いました。

(55期 基礎工1 瀧澤洗)

景色も、体の動きも、何もかもが普段とは違う山行は自分に新たな山の一面を教えてくれたと思います。足全体に疲労感を覚えながらも、一面の雪景色を一步一步踏み込んで進む楽しさは格別でした。山小屋での朝も雪が音を吸い込むかのようにしんと静まりかえっていて、自分たちが自然に囲まれていることを実感できました。雪が柔らかすぎてワーク板に乗って滑ることができなかった、それだけは残念でしたが最高に楽しい体験でした。



(55期 基礎工1 武内基彦)

---

2011/2/26～3/5 無人島合宿  
～朝起きたら料理が目の前にある～

---

この無人島合宿が唯一予定通りに行われた春合宿です。2月26日から3月5日までの8日間、岡山県にある釜島に15人という大パーティーで行ってきました。まず驚いたのは毎食のメニューの豪華さで、普段の合宿とは比べ物にならないくらいおいしい料理



を作ってくれた食当の人には感謝です。天候の悪い日や雪が降るほど寒い日もありましたが、この合宿のメインともいえるサバイバルゲームやキャンプファイアーを中心に、釣り、小屋作り、賭けUNO(!?)なども思う存分楽しめました。8日間があっという間に過ぎた、本当に楽しい合宿でした。(文責 笹原)

今回の無人島合宿は無人島としては長期の1週間という規模で行った現役としての最後の合宿でした。合宿中は瀬戸内海には珍しく雨が降ったり止んだり、はたまた季節外れの雪が降ったりと天候に恵まれなかったのですが、合間合間の晴れで島中探索やサバゲー、キャンプなどを行い充実した内容にできたと思います。個人的には塩ビパイプで横笛を作って、知っている曲を日がな1日吹いていたことが印象に残っています。日常ではなかなかできないことをやろうと合宿前から準備をして合宿に臨む楽しみを満喫できました。合宿が終わってから色んなことがありましたが、参加したメンバーにはこの合宿が楽しかった思い出として心に留めてもらえていたら嬉しいです。

(53期 理3 佐野雅也)



無人島超楽しかった!! 去年は3日間しか滞在できなくて不完全燃焼感が否めなかったのですが、今回は合計8日間も滞在できてとても充実した合宿を送ることができ大変満足でした。個人で計画・準備したサバイバルゲームも、これでもかという位やることができ良かったです。しかし負傷者を2名も出してしまったのは心が痛いです。

…あと出費が痛い。エアガン関係でP会の22倍程のお金を使いました(苦笑)。食生活も充実していて大変良かったのですが、サバゲーの主催者として毎回食当の手伝いをできなかったのが申し訳なかったです。体調も良く、今まででトップクラスに楽しかった合宿でした!

(54期 工2 西尾健)

二回生というのに何故か一回生と共に食当を任されてしまいました。無人島だから食にはこだわって凝ったメニューにしたのはいいのですが、一食作るのに平均2時間、後片付けに1時間はかかってしまって、息を抜く暇がない無人島合宿でした。特に朝なんか、隣のテントの人が何にも手伝ってくれないことに殺意を覚えた時もありました。でも一回生全員が満足してくれたと思うので、頑張った甲斐があったと思います。



(54期 基礎工2 坊々内渉)

無人島で5kg太った。ご飯は常にコッヘルからはみ出んばかりに盛られていた。とにかく食べ続けた。ピザ・パン・焼き芋・焼きりんご・バウムクーヘン・ホットケーキ・お

好み焼き・ナムル・マーボー茄子・クレープ・シーフードカレーなどなど。全部おいしかった。特に、バウムクーヘンの成功には心が躍った。無人島にてダンボールオーブンで調理をする姿は、私がワングル入部前に抱いていたワングルのイメージそのものであった。ありがとう、食当。ありがとう、シェフ。

(55期 法1 野田英明)

## 部員紹介

～★54期次期リーダーズ★～

### ・岡嶋真吾

おそらく54期の中で最も小柄な岡嶋さんは、普段からかなりクールな先輩です。錬成合宿でミスを犯すと淡々と突っ込まれます。それもあってか、一部の一回生からは怖いというイメージもあるようです。しかし、後輩思いで、時折無邪気な一面も見せる岡嶋さんは実はとても親しみやすく、頼りになる先輩です。そして何より、サングラスをかけた岡嶋さんは本当にかっこいい!! ぜひ一度ご覧になってみてください。



### ・東野正和

槍ヶ岳の頂上とかけまして、一人娘の反抗期ととく。その心は? どちらもとがっています…  
謎掛けが得意な東野さん。お題を出すと必ず即興で答えてくれます。これからも数々の名言を残すのでしょう。常に癒しオーラが出ており、一緒にいるとなぜか安心できる先輩です。

### ・倉石彩子

彼女なしではワングルは語れない、と言えるほど倉石さんには存在感があります。ワングルの中ではお母さんのような存在で、雷鳥からサケの産卵に及ぶ物真似をしたりして、いつも周りを明るい雰囲気してくれます。



